

## 香港日本人学校と通学バスのあゆみ

- 1907年 11月 香港本願寺小学校と称し、灣仔本願寺布教所において開設
- 1909年 8月 経営が香港日本人慈善会に移され香港日本人小学校と改称
- 1923年頃 在留邦人が約3500人増加し、邦人、企業の寄付金でKennedy Roadに校舎を新築
- 6教室、大講堂、運動場、教員宿舎を完備
- 1937年頃 在留邦人は約1600人に減少し、児童数は約100人
- 1941年頃 在留邦人の大部分は離港して僅かに400人
- 婦女子は皆無の状態
- 以後昭和40年まで日本人倶楽部にて補修教育のみを実施
- 1966年 5月 学校法人として香港日本人学校を設立。場所はタワーコート、現在のAIA Plaza Bldg. (司徒拔道)
- 同年10月14日 香港日本人学校開校式を挙行
- 1967年 8月 1台目のスクールバスを購入；校外学習、通学に使用(小・中総数137名)
- 保護者によるバス添乗の始まり
- 以後、児童数の増加に伴い、ほぼ毎年1台ずつスクールバスを追加購入
- 1970年 5月 幼稚部を開設し、開園式を挙行(小・中総数258名)
- 1971年 4月 幼稚部と小学部1・2年生は嶺英校舎(現在の銅鐘灣、リーガーデン2)に移転
- (小・中総数340名)
- 1972年 香港最初の海底トンネルが開通(ホンナム～銅鐘灣)したが、スクールバスの運行は香港島のみ
- 九龍サイドの児童生徒はスターフェリーを利用し、セントラルのシティーホールからスクールバスで通学(小・中総数396名)
- 1973年 10月 九龍へのスクールバスの運行開始(小・中総数431名)
- 1974年 12月 新校舎完成；
- 現小学部(157 Blue Pool Road)に幼稚部、小学部、中学部を移転
- 12月16日より新校舎で授業開始
- 7台目のスクールバスを購入(小・中総数532名)
- 1980年 4月 学校保有のバスは7台に留め、以降増車分はバス会社とのチャーター契約で運行
- PTAバス運営委員会のもとに通学バス利用者会を設立(小・中総数1344名)
- 1982年 8月 寶馬山に中学部新校舎完成
- 8月27日、二学期始業式を新校舎で行う
- 1983年 4月 通学バス利用者会がPTAより独立(小・中総数1509名)
- 1984年 2月 幼稚部入園希望者抽選会を実施(応募総数199名、内定者160名)

1987年 3月	小学部児童増加の為、幼稚部廃止（小・中総数 1561 名）
1989年 6月	6月7日天安門事件の余波を受けた香港での大規模追悼デモの為、臨時休校
1989年 11月	11月29日 中華バス・ドライバー組合のストの為、臨時休校
1996年 4月	香港日本人学校の児童・生徒数が過去最大となる 小学部 1717 名・使用バス 32 台・中学部 451 名・使用バス 10 台で運行
1966年 9月	尖閣諸島問題でデモ隊が小学部、中学部に抗議に来る
1997年 2月	香港教育署の規定で小学生以下の通学バスに大人の添乗が義務付けられる
1997年 5月	小学部大埔校開校 九龍地区及び太古城とコーンヒル居住の一部の児童は大埔校へ通学
1999年 9月	専属バスマザーを登校のみに導入
2001年 9月	専属バスマザーを登下校に完全導入（小学部 627 名・中学部 327 名）
2002年 1月	臨時総会にて通学バス利用者会、中学部、小学部分離を承認
2003年 5月	非典型肺炎の影響で開校が遅れていることに鑑み、『非常事態』と位置付け、緊急集会を開催（平成 15 年 6 月『非常事態』解除）
2009年 6月	地域内での新型インフルエンザ感染が確認されたことにより、香港政府行政長官より香港内全幼稚園・小学校の休校措置命令が出され休校となる
2010年 4月	事務を学校事務局に委託
2013年 12月	座席表、朝の見送り当番、義務添乗制度、バス委員廃止のトライアルを実行
2014年 4月	会長、副会長のみを残し、正副委員長、バス委員を廃止
2014年 9・10月	雨傘運動による中環地区長期占領で、3 日間の休校、及びセントラルピアバスは 5 日間アバディーン経由登校
2014年 11月	児童 ID 導入により、バス定期カードの廃止 SNS 導入により、全児童保護者へ試験発信を行う
2014年 12月	学校所有の白のコースター 28 人乗りをバス通学で使用開始と同時に 2 台ある大型バスを廃車
2018年 2月	GPS によるバス位置情報把握サービス導入に向けたトライアル実施
2018年 4月	中学部校舎のハッピーバレー移転に伴い、小学部と中学部が共同運行を開始
2019年 3月	香港民主化デモ 「逃亡条例改正案の完全撤回」や「普通選挙に実現」等を含む 5 つの目標「五大要求」の達成を目的とし、2019 年 3 月から 2020 年に渡り継続してデモが行われ、その影響で断続的に休校
2019年 11月	中国武漢市で「原因不明のウィルス性肺炎」が確認される
2020年 2月	新型コロナウイルスの感染が広がり、香港政府の休校措置命令により休校初めて 4 月末よりオンライン授業が行われ、以降オンライン授業と分散登校対面授業が継続的に実施
2020年 6月	バス会長、バス副会長 2 名（男性 1 名:香港校 PTA 会長兼務、女性 1 名） 運行支援 2 名、広報 2 名（うち 1 名は女性副会長兼務）、会計 1 名に体制変更

- 2020年 9月 バス全体LINEとバスルートLINEスタート  
円滑に業務を行う為、事務局とバス役員とのやり取りにLINE WORKSを導入
- 2020年 10月 通学バス利用者会 twitter 終了
- 2021年 3月 GPSトライアル実施  
香港校通学バス利用者会のホームページのリニューアル作業開始
- 2021年 4月 GPS開始  
香港通学バス利用者会のホームページ開始
- 2022年 6月 バス会長、バス副会長2名（男性1名：小学部PTA会長兼務、女性1名）  
副会長補佐、運行支援2名、広報3名（女性副会長、副会長補佐、他1名）  
計7名に体制変更
- 2023年 3月 コロナの状況が落ち着いたことにより、1年を通して通常運行ができた
- 2024年 6月 2026年4月に香港校・大埔校統合予定発表  
統合に向け両校バス会統合のため検討を開始
- 2024年 9月 蘇州、深圳にて日本人学校の生徒が襲われる事件があり、安全対策  
を強化
- 2024年 11月 日本領事館のサポートによる日本人学童の通学安全確保の為、バス内セキュリ  
リティ警護を導入